

J. Sights Corporation

タイ出張報告 番外編 -タイのベトナム料理-

J サイト株式会社

齋藤政人

コロナ禍で海外出張に行かれず、3年ぶりのバンコクでした。久しぶりでしたので感じたことを以下にまとめます。

まず驚いたのが物価の高さ。以前（だいたい昔の話ですが）は昼食というと100バーツも払えば十分だったのですが、今は一皿200バーツというところもあちこちにありました。夕食で一人1,000バーツをバンコク駐在者が「この料理内容であれば安いですね」と発言する等、隔世の感がありました。私が物価が高いと感じたのは為替の影響もあると思います。



① タイのカニ料理

その昼食ですが、バンコクでベトナム料理をいただきました。初めてです。バンコクで食べる料理というと普通は写真①、②のような料理が多い（これは海鮮料理です）のですが、出てきたベトナム料理（写真③、④）は見た目も美しく、新鮮な印象を受けました。もちろん、タイの宮廷料理はもっと盛り付けが綺麗ですし、このベトナム料理を出したお店が特に見た目に気を配っていたという点もあるだろうと思うので、一概にベトナム料理は見た目が綺麗

昔（何度もすいません）であれば1バーツ3円以下という時代もありましたが、今は約4円。一人1,000バーツの夕食は約4,000円となり、内容はともかくとして、東京の居酒屋とあまり変わらない価格と驚いた次第です。たぶん、バンコクの物価が上がった（という面はもちろんあるでしょうが）というよりも、日本が物価を含め30年前と変わらないという事象が如実に出ているのだと思います。



② タイのエビ料理

J. Sights Corporation



③ ベトナム風ピザ

公共交通機関もだいぶ変化していました。BTS（高架鉄道）は雰囲気が東京のモノレールや地下鉄と殆ど変わらず、我々海外からの出張者・観光客も安心して利用できると感じました。道路の混雑やバイクの多さは相変わらずです。タクシーだけでなく Grab (Uber より Grab だそうです) も簡単に利用でき、交通機関の選択肢がだいぶ多くなったと実感しました。

しかしながら現地の人間に、レンタカーして私が自分で運転するのはどう思う？と聞いたところ、やめたほうがいいと。無謀なバイクが多いからという理由でしたが、たぶん私の運転が下手だと思っている？と勘ぐっています。



④ 豚肉の蒸し料理



⑤ ブランデー

物価の高さは為替の影響もある、と最初にした通りです。海外との金利差が拡大し日本円が弱くなっていることは、日本経済にとって致し方ないことかもしれません。それでも、円安が輸入品の値上がりを含めいろいろな局面に影響を与えており、日銀の金融政策の難しさを考えながら現地産ブランデー

(写真⑤) を飲んでいました。

(ラベルにはブランデーと書いてありますが、店ではウイスキーと言っていました。)



⑥ 暑いタイにぴったりの冷えたジントニック

以上

弊社ではタイをはじめ北米・欧州・アフリカから安心安全な食品原料を輸入しております。ご興味のある方はお気軽に[お問い合わせ](#)ください。